

「礼文島国際共同調査」事前学習会 第3回

「発掘調査の方法」 講師：藤村 俊さん(美濃加茂市民ミュージアム学芸員)

日時：平成26年8月3日(日)13:30～15:30 場所：美濃加茂市民ミュージアム

発掘調査や出土品の整理の方法について、実際の道具や遺物を通じて学びました。



展示品の説明を聞く



土器の分類にチャレンジ

- 本日の講師は、考古学の研究者であり、博物館学芸員としても活躍中の美濃加茂市民ミュージアムの藤村俊さんです。
- 発掘に使用する機材を使つての調査体験や出土遺物の整理作業に挑戦しました。
- 発見された遺跡や遺物をどう分析し、歴史の資料とするか、その手続きについて学びました。



出土土器をていねいに観察



発掘作業にチャレンジ

<参加した生徒の感想>

○今日の体験を通して、発掘の上での大切なことを学ぶことができました。実際に土器の分類作業を体験したり、森の中で発掘したり、貴重な体験となったと思います。また、発掘するときの注意点も学び、礼文島で気を付けることが分かりました。今日教えていただいたことを活かしながらやっていきたいです。

- 今日は土器片の分類作業を行いました。僕は須恵器の破片らしいものを集めました。すでにある土器と見比べてどの時代の物かを判断するのは大変なことだと思いました。でも、**土器の表と裏の模様**の規則性を見つければ破片を見ただけで裏か表か分かるのはおもしろいと思いました。発掘では、土器が出てくるかもしれないから慎重に掘らないといけないと思いました。森の中の少しへこんでいる所の地下に、住居跡があることを知りました。遺跡のすぐそばにあるのに、今日発掘した所では何も出なかったことを不思議に思いました。広場のような所だったのかなと思いました。
- 今日の学習では、実際の発掘のやり方を体験できたり、発掘したものを触ったり、じっくりと観察したりしてとてもよい体験学習でした。今日の学習で礼文島での発掘をイメージしやすくなりました。発掘の注意点や手順を学べました。現地では研究者の方たちの話をしっかりと聞き、ミスのないように発掘したいです。
- 最初に発掘のDVDを見ました。発掘してから博物館に展示されるまでに、細かい作業がたくさんありました。発掘するときは範囲を決めて掘っていきます。どこから出てきたか、何cmくらい掘ったかを、しっかりと確認したいです。また自分で土器の破片を触らせて頂きました。最初は色の似たものを集めていたけど慣れてくると、どれが同じ種類か分かってきます。自分で発掘体験をしてみて、学んだこともあります。私達の発掘したところは何も出てきませんでした。でも近くに遺跡があるのに、何も出てこないのはおかしいです。**何も出てこないことにも、きっと何か意味があると思います。**土を掘り進めていくと途中で色が変わり始めました。北海道の調査の時は、そういう変化も確認していきたいです。あと住居跡も見ました。黒い部分があって、昔の人が住んでいたのを自分の目で確認できました。今日は短い時間だったけど沢山のことを学べた貴重な時間でした。ありがとうございました。
- 実際に発掘の道具も持たせてもらって、現場の雰囲気を少し感じられました。丁寧に扱うことも教えてもらったので間違っただけで踏んだり壊したりしないよう細心の注意を払ってたいです。土器分類も難しかったですが、大切なのはどういう観点で分けたのかを相手に伝えることだと思います。**討論は嫌いでなく、むしろ好きなので自分知識の限りを尽くして出した考えを話せるようにしたいです。**日本語はもちろん、英語でもできるよう頑張ります。土器を発掘した後にもたくさんの作業があったので、どこの場面を体験させてもらえるかは分かりませんが、礼文では与えられた仕事を精一杯やりたいです。
- 僕は今まで一回も発掘をしたことがありませんでした。だから、**だんだんとやっていくうちに目が土器を探すための目になっていくことを実感できました。その感覚が楽しくもあったし、不思議でもありました。**中々できない貴重な体験だったと思います。これからは、今まで石だと思っていたものを観察して土器だと判断できそうです。だから、自分の新しい知識が増えたことが嬉しいです。いよいよ本番の礼文島です。今日教えていただいたことは守り、自分が動いていけることは積極的に活動していきます。
- 今回は、実際に作業を試みたけれど一番大切だと思ったことは丁寧さだと思いました。発掘するにも掘る面積をしっかりと測ってやらなければいけないとわかったし、地層を確認する作業も要所要所で必要なだとわかりました。遺跡を発掘していく中で、土の色も重要なキーとなっていることもわかったので、様々な知識を踏まえた上で礼文島に望みたいと思いました。
- 最初にやった土器の分類は、なんとなく分かるのもあれば、よく分からない物もあり、分類や接合はとても難しいと思いました。発掘は、土器があるかもしれないから、慎重さも必要で、でも土を一気に掘る大胆さも必要だから、両方のバランスをとらないといけないと思いました。また、私は美濃加茂文化の森には、何度も行ったことがあったけれど、竪穴住居跡があることを知りませんでした。遺跡と言うとすごく遠い存在に感じるけれど、意外にも自分の身近な場所にあることが今日の学習会で実感できました。今日の発掘の体験を生かし、礼文島で頑張ります。